

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

### 事業名 リニア中央新幹線活用戦略ブラッシュアップ費業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園整備局 公共交通課 リニア推進係

電話番号：058-272-1111 (内 2733)

E-mail：[c11134@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11134@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 30,000千円 (前年度予算額：9,800千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,800	0	0	0	0	0	0	0	9,800
要求額	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000
決定額	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・リニア中央新幹線活用については、平成26年3月策定の「リニア中央新幹線活用戦略(以下「活用戦略」という。)」に基づき、リニアを活用した地域づくりを戦略的に進めているところである。
- ・活用戦略を策定してから8年が経過し、社会環境の変化もあり、今後リニア開業効果をより高く得るには、活用戦略のブラッシュアップを行う必要がある。
- ・中津川市では、令和元年7月に「中津川市リニアを活用したまちづくり構想」を策定し、整備段階に入ったことから、令和元年8月から令和3年12月までに「中津川市リニア岐阜県駅周辺デザイン会議」を5回開催し、駅周辺のデザインについて検討を進めている。

### (2) 事業内容

- ・有識者等からの意見を踏まえ、活用戦略をブラッシュアップし、「(仮称)活用戦略アクションプラン※」を策定。
- ※検討の視点はコロナショックによる「新次元の地方分散」、開発と規制

のバランスが取れた地域の発展を追求する「SDGs」の推進などが考えられる。

- ・リニア岐阜県駅について、駅舎外観デザイン等に係る意見聴取を行うため、各分野の有識者によるデザインアドバイザー会議を開催。

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 10/10（県全体の広域的な観点で検討が必要な事業であるため）

### (4) 類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	5,665	会議出席者への謝金
旅費	1,858	会議出席者への交通費等
需用費	860	消耗品費、会議費
委託料	20,845	ブラッシュアップ調査・調整業務
その他	772	会場使用料等
合計	30,000	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 後年度の財政負担

- ・なし

### (2) 事業主体及びその妥当性

- ・リニア開業効果を県内に広く波及させていくための取組みであることから、県が主体となって戦略を推進する。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 活用戦略のブラッシュアップを行い、（仮称）活用戦略アクションプランを策定し、リニア開業効果を全県的に波及させる。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

**○指標を設定することができない場合の理由**

（仮称）活用戦略アクションプランの策定は、定量的な数値による表現に馴染まないことから、指標を定めることができない。

**（これまでの取組内容と成果）**

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</li> </ul>	
(評価)	(仮称) リニア活用戦略アクションプランの策定は、リニア開業効果を全県的に波及させる手段であり、事業の必要性が高い。
2	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施策内容によっては、事業主体が多岐に渡るため、具現化していくには今後調整が必要である。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和9年のリニア開業に向け、アクションプランで打ち出した施策内容を具現化していく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	